

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽総合演習	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	15 時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	藤田 美保	実務経験の有無・職種	有・音楽教諭		
<b>学習目的</b>					
音楽表現、身体表現、言語表現、造形表現の各領域を横断した「表現」に関する知識や保育技術の習得を目的としている。更に、音楽を総合的にとらえ、総合演習として「歌」「リズム」「チームワーク」など、保育者として社会に出た時に必要となるすべてのスキルを身につけることを目的としている。幼児教育とは何なのかを考察し、幼児教育の中の「音楽表現」の位置づけを理解できるようになるために、実践を通し感性や人間力の育成を目指すことがねらいである。現場での音楽表現指導には欠かせない音楽劇について指導法を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
日々活動している社会の中で自分を位置付けること。幼児教育についてや保育内容について理解し、こどもの音楽表現遊び、身体表現遊びを展開するために必要な知識や技術を音楽表現的領域、身体表現的領域、言語表現的領域、造形表現的領域から見出し、保育指導法を習得していくことを目標としている。現場での音楽劇に対応するため、題材選びから道具の準備まで、その分野において特に深いかわりのある情報を学ぶことが目標である。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	保育現場に必要な「子どもミュージカル」の指導法について学ぶ。幼児に音楽劇を指導するための分野において、自らがすべての情報を身につけるために実践する。題材選びから舞台の準備に至るまで、どのようなことが必要で、どのように指導していくのかを、グループ別に役割分担しながら実践して行く。これまで学んできた音楽の要素をすべて使って、歌いながら演技をする楽しさと、それを指導することのスキルを身に付ける。演奏する側と、指導する側に分かれて1つの作品を作り上げる達成感を体験する。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」の内容を基に、音楽表現を考える。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	20%	課題を総合的に評価する		
	成果発表 (実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～8回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	子どもミュージカルとは何かを学ぶ①	子どもミュージカルを理解し、題材について考察する			
2回	子どもミュージカルとは何かを学ぶ②	役割分担の必要性を理解し、実践する			
3回	グループワークの演習①	グループに分かれて役割分担の大切さを理解する			
4回	グループワークの演習②	グループに分かれて、必要性を発表する			
5回	実践演習①	全体で必要なところを踏まえて演習し、実践する①			
6回	実践演習②	全体で必要なところを踏まえて演習し、実践する②			
7回	実践演習とリハーサル	発表しながら指導法を考察する			
8回	発表・実践	実践を通し、子どもミュージカルの指導法を考察する			
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					